



まつもと みちこ

松本 倫子

松本果樹園 徳之島町

かごしま農業女子プロジェクト

「島の旬の果物を全国へ」
松本果樹園のモットーです。



就農のきっかけ

千葉県でサラリーマン生活をしていましたが、夫が、ふるさとの両親が営む果樹園を継ぐ決意をし、2004年に徳之島にUターンして夫婦で就農した。
島で一人娘にも恵まれ、島の自然を楽しみながら、心穏やかに暮らしている。



松本果樹園のアイドル「シロー」

品 目：たんかん 2.5ha アテモヤ50a きんこうじみかん20a など
販売先：個人のお客様へ直接販売（ホームページで集客）。リピーターも多い。
ふるさと納税返礼品にも出品。
特 徴：たんかんでK-GAPを取得。エコファーマーの鹿児島県認定も受け、
トロピカル☆フルーツを島から全国へ届けている。

農業女子プロジェクトに入ったきっかけ

徳之島町総合食品加工センターみのり館が、三越伊勢丹×農業女子のコラボ商品として、たんかんを使ったジェラートやソルベを企画。その際、町からお誘いを受けて入会した。

農業女子プロジェクトに入ってよかったこと

SDGsを意識し、考えるようになった。
昨年度開催されたサステナウィーク「未来につながるおかいもの」（農林水産省、消費者庁、環境省連携）で、「農業女子PJメンバーのサステナ宣言」を行った。

目標

たんかんやアテモヤが、島立ちする子ども達にとって、ふるさとを自慢できる逸品になるように、良質なフルーツを生産すること。
チャレンジしているアボカド栽培を成功させ、地元の飲食店で、島産完熟アボカドを気軽に味わってもらうこと。



真剣なまなざしで、島の将来を語る